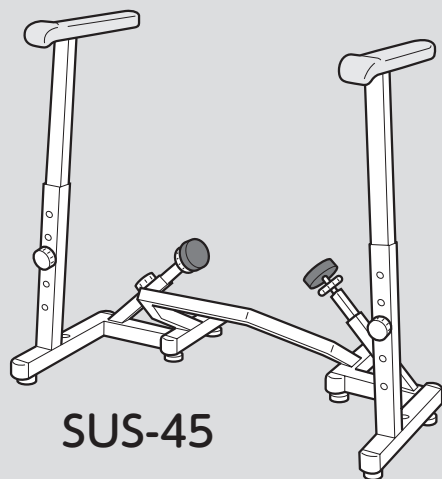
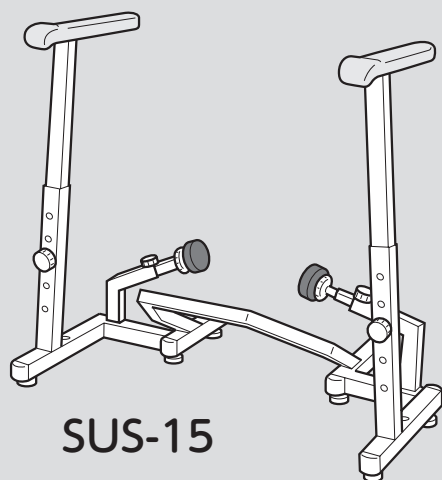


洋式トイレ用フレーム SUS-45 SUS-15 取扱説明書



SUS-45



SUS-15

最大使用者体重：100kg

このたびは洋式トイレ用フレーム SUS-45 / SUS-15 をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。

なお、取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。

もくじ

必ずお読みください	安全上のご注意	1・2
	各部のなまえと同梱部品、特長	3・4
取り付けかた	取り付けの前に	4
	取り付け方法	5~9
使いかた	ご使用の前に（点検）	9
	お手入れの方法	10
困ったとき	保証とアフターサービス	10
	保証書	11

保存版
(保証書付)


安全上のご注意 必ずお守りください

この製品は、家庭の洋式トイレでの立ち座りを補助するために使用いただく製品です。それ以外の目的での使用はおやめください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

-  **必ず実行していただく「強制」内容** を説明しています。
-   **してはいけない「禁止」内容** を説明しています。

 **警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

●ご使用前に必ず製品にガタツキがないか確認してから使用すること

転倒やけがの原因になります。
点検方法は添付の「ご利用者様へ」を確認してください。

●使用中にゆるみやガタツキが発生した場合は直ちに使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

取り付けが不安定になり、けがの原因になります。



座るときや、使用後に立ち上がる時など、使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は必ず介助者が付き添うこと

転倒やけがの原因になります。

使用者の身体状況や利用状況によっては、大きな事故につながる可能性があるため、製品をしっかり固定できる床固定を推奨します。（P.8～9「床固定方法」参照）



改造はしないこと

また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと

正常にはたらかず、けがの原因になります。



体重が100kgを超える方は使用しないこと

破損し、けがの原因になります。



便器での立ち座り以外の用途には使用しないこと

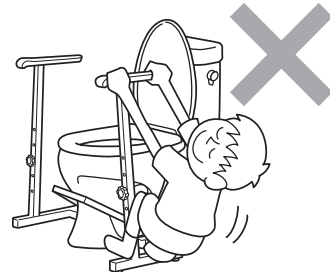
転倒やけがの原因になります。

取り付けできない便器には使用しないこと

取り付けが不安定になり、けがの原因になります。（P.4 参照）

肘掛けの上に乗ったりぶら下がらないこと

肘掛けが破損し、けがの原因になります。



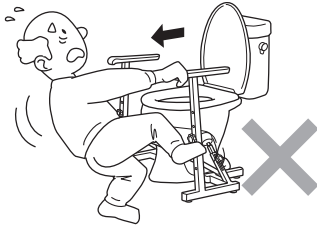
安全上のご注意 (必ずお守りください)



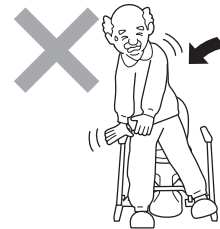
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

肘掛けを便器前方へ引っ張らないこと
トイレから製品が外れ、転倒やけがの原因になります。



座るときや、使用後に立ち上がる時など、片側の肘掛けに全体重をかけないこと
転倒やけがの原因になります。



注意

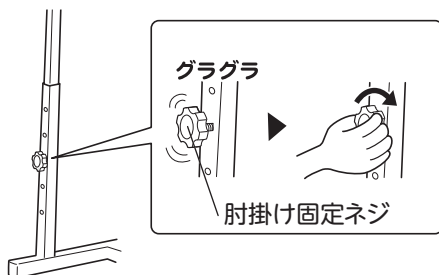
誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

各部の調節（高さ調節など）については、販売店やケアマネジャーなどの専門家に相談すること

肘掛け固定ネジがゆるんでいないか、ご使用前に点検すること

ゆるんだまま使用すると、不安定になりけがの原因になります。

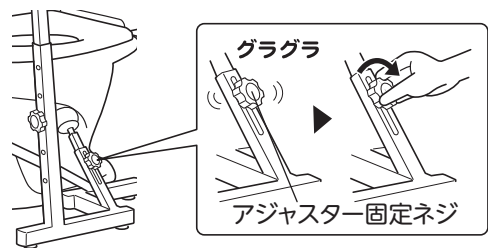
ゆるみがある場合は、肘掛け固定ネジをしめ直してください。



アジャスター固定ネジがゆるんでいないか、ご使用前に点検すること

ゆるんだまま使用すると、不安定になりけがの原因になります。

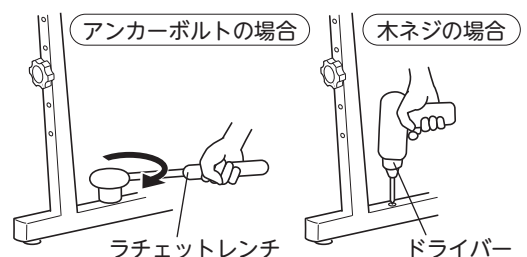
ゆるみがある場合は、使用を中止し、P.6～7「取り付け方法④～⑥」の手順でしめ直してください。



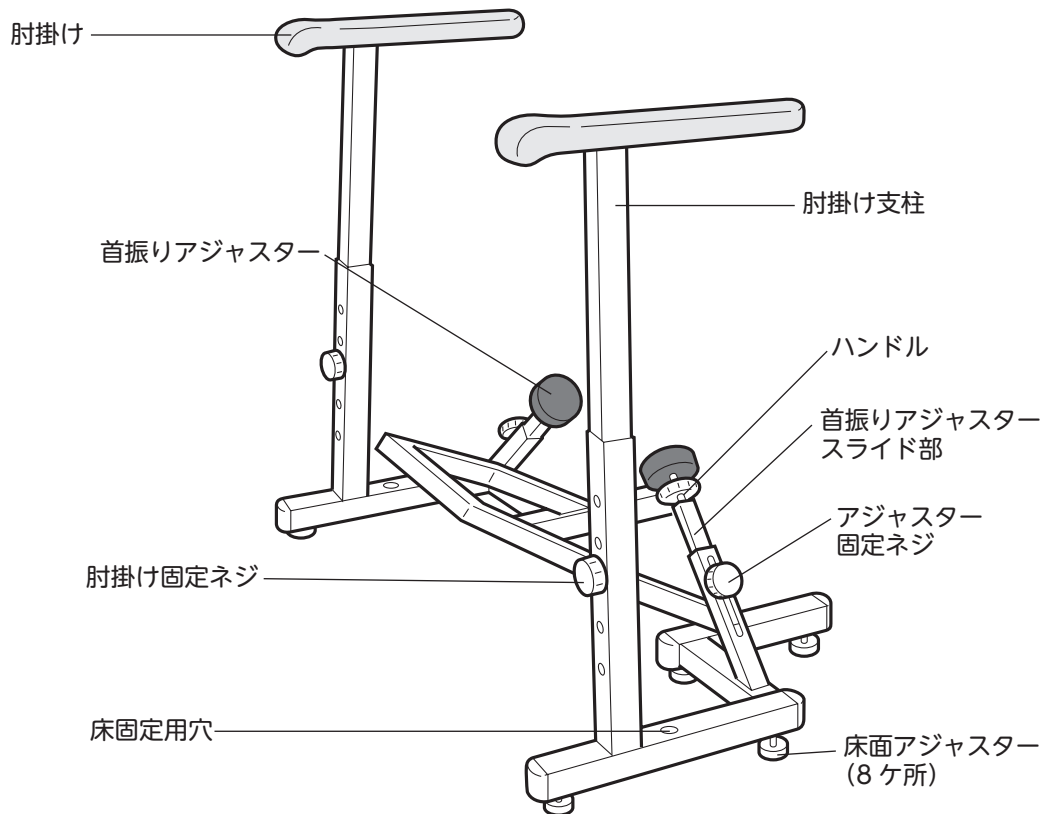
床固定している場合は、アンカーボルト、木ネジがゆるんでいないかご使用前に点検すること

ゆるみが解消しない場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

ゆるんだまま使用すると、不安定になりけがの原因になります。



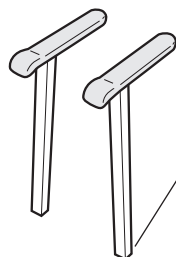
各部のなまえと同梱部品



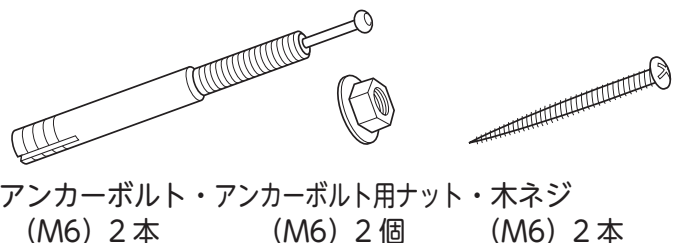
■部材・付属品

組み立てる前に部品をご確認ください。

肘掛け（右用）（左用）



赤いシールがついているほうが左用



■仕様

品名	洋式トイレ用フレーム SUS-45 / SUS-15
材質	フレーム：ステンレス（エポキシ系粉体塗装） 首振りアジャスタースライド部：ステンレス（エポキシ系粉体塗装） 首振りアジャスター：ナイロン、ステンレス、鉄（有色クロメート） 首振りアジャスターパッド：合成ゴム 肘掛け：ポリプロピレン 床面アジャスター：ステンレス、ポリエチレン 肘掛け固定ネジ、アジャスター固定ネジ：鉄（有色クロメート）、ポリエチレン
寸法	幅 70 × 奥行 47 × 高さ 55 ~ 71cm
重量	約 6.4kg

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

特長

- 組み立て、取り付けは簡単です。コンパクトなので、組み立ててから、トイレ室内へ入れて簡単に取り付けできます。
- 首振りアジャスターが斜め下から便器を挟み込んで、しっかり固定します。
- 肘掛けの高さは、5段階（床から55、58、61、66、71cm）に調節可能。
- 肘掛けは握りやすい形状です。
- 肘掛けは抗菌加工で清潔です。
- 床面アジャスターを装着しているので、トイレの床が斜めになっても安定して取り付けることができます。

取り付けの前に

下図のような便器には取り付けできません。

SUS-45

<p>1</p>  <p>最大幅</p> <p>便器前方</p> <p>20</p> <p>①寸法が19cm以上の場合 (①寸法:床から20cmの高さの、便器前方から便器最大幅位置までの水平距離)</p>	<p>2</p>  <p>②寸法が30.5cm以上の場合</p>	<p>3</p>  <p>丸みが少ない ワンピース型便器</p>
---	---	--

- 1に記載の便器は、床固定することで使用できます。
- 2、3に記載の便器には、「洋式トイレ用フレーム SUS-15」をお試しください。

SUS-15

<p>1</p>  <p>最大幅</p> <p>便器前方</p> <p>20</p> <p>①寸法が19cm以上の場合 (①寸法:床から20cmの高さの、便器前方から便器最大幅位置までの水平距離)</p>	<p>2</p>  <p>胴の細い丸みのある便器</p>	<p>3</p>  <p>16</p> <p>②寸法が38cm以上の場合 ③寸法が24cm未満の場合と、36cm以上の場合 (③は床から16cm高さの便器の最大幅)</p>	<p>4</p>  <p>細い</p> <p>太い</p> <p>簡易水洗式等</p>
--	--	---	---

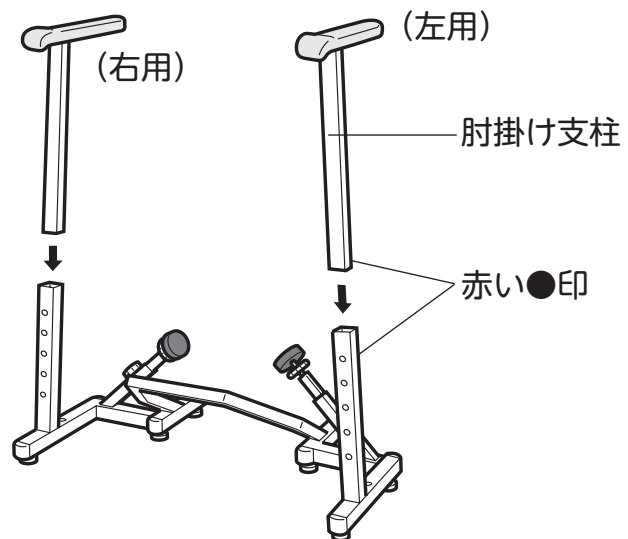
- 1、4に記載の便器は、床固定することで使用できます。
- 2に記載の便器には、「洋式トイレ用フレーム SUS-45」をお試しください。

取り付け方法

① 肘掛けを本体に取り付ける

肘掛けは右用と左用を間違えないように取り付けてください。

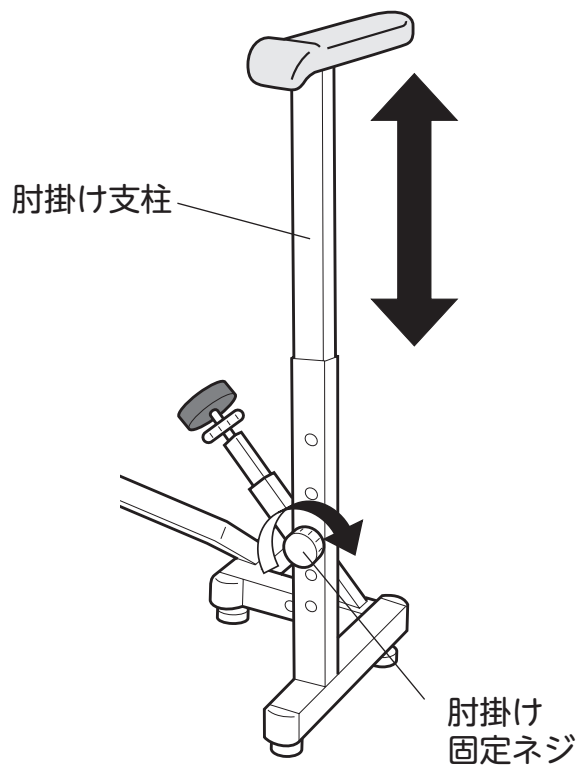
左用の肘掛け支柱には赤い●印がついています。フレームの左側にも赤い●印がついているので、印のついている物どうしを合わせてください。



② 肘掛け固定ネジを取り付けて固定する

肘掛けの高さを選び、肘掛け固定ネジを差し込み支柱のネジ穴に取り付けます。

肘掛け固定ネジは手でしっかり締め付けてください。



取り付け方法

③ フレームをトイレに設置する

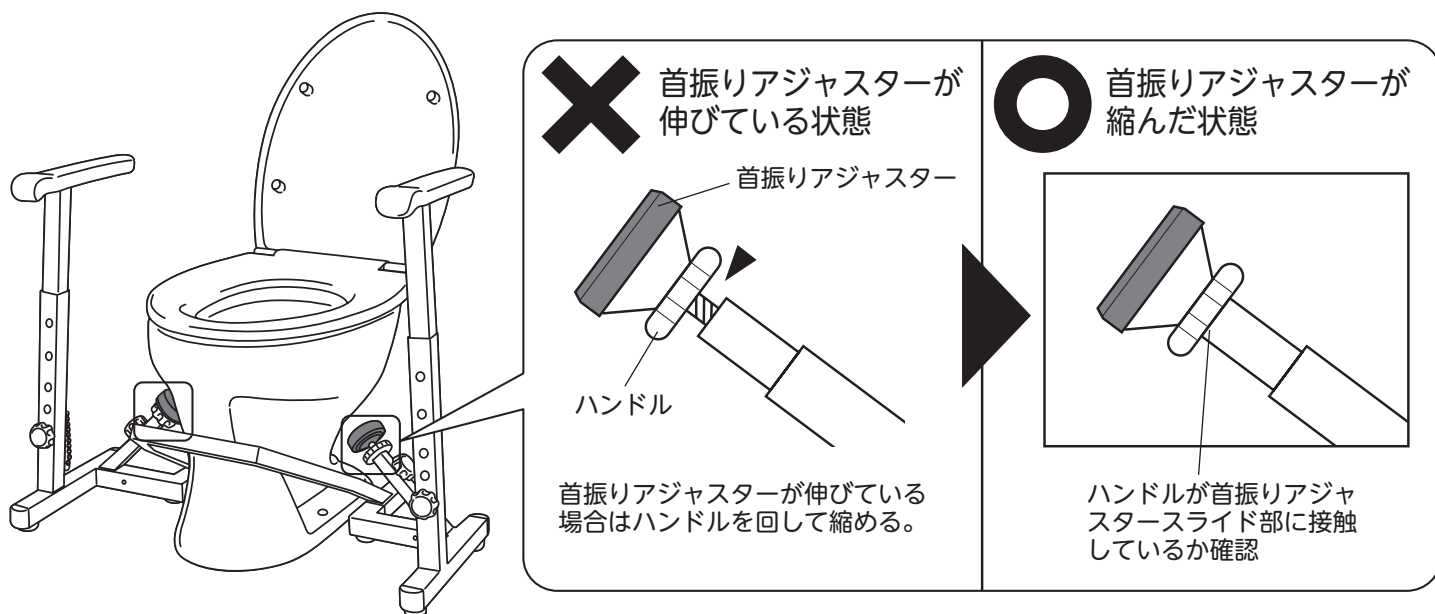
図のように、フレームはトイレの正面から取り付けます。

トイレの先端と、連結パイプが接触するように設置し、床面アジャスターで、フレームが安定するように調節します。



④ 左右の首振りアジャスターが縮んでいるか確認する

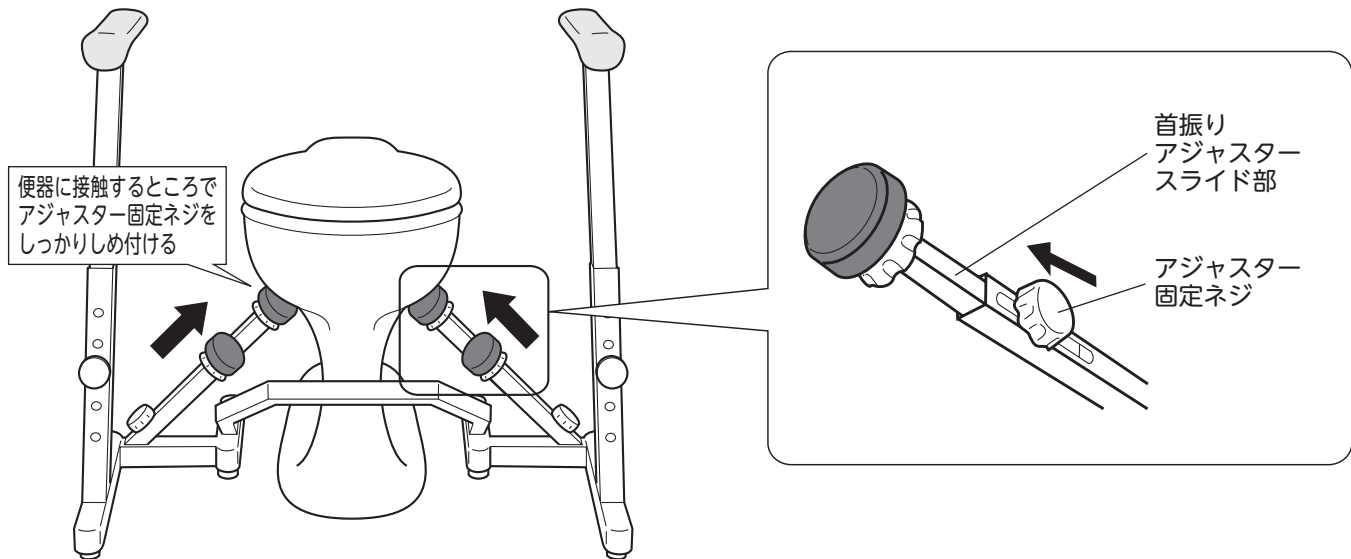
首振りアジャスターはあらかじめハンドルを回して縮めておきます。



取り付け方法

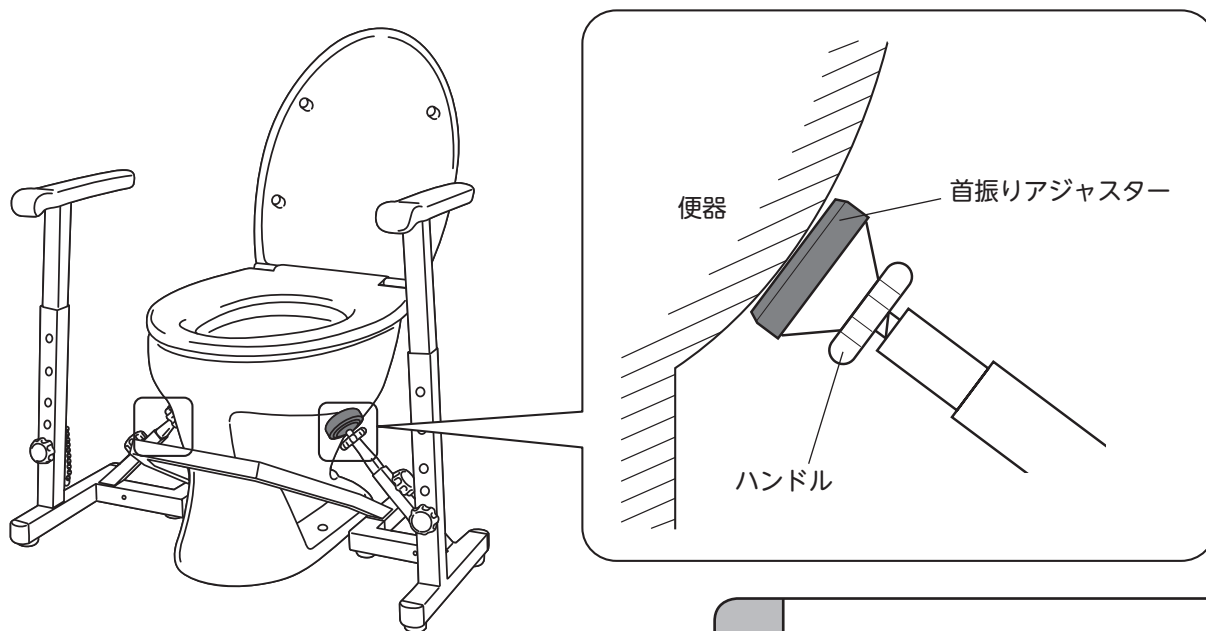
⑤ トイレに固定する（左右同時に行なう）

アジャスター固定ネジをゆるめ、首振りアジャスタースライド部を引き出し、便器に接触するところでアジャスター固定ネジをしっかりとめ付けます。



⑥ 首振りアジャスターでしっかり固定する

首振りアジャスターのハンドルを回してフレームをしっかり固定する。



首振りアジャスターのしめ付けのみで固定しないこと
必ず「⑤トイレに固定する」を行ってから首振りアジャスターをしめ付けてください。

首振りアジャスターが脱落し、ガタつき、トイレからフレームが外れ、転倒やけがの原因になります。

首振りアジャスタースライド部がゆるんだ場合

取り付け方法④～⑥の手順でしめ直してください。

以上の作業で取り付けは完了ですが、完全に床に固定したい場合は、次ページの要領で施工してください。

床固定方法

洋式トイレ用フレームは、独自の固定方法により、便器に固定できますが、更にフレームをしっかりと固定することができ、フレーム本体の回りを防止する床固定の部品を付けております。

1 施工される業者の方へ

施工される前に、この説明書をよく読んでから施工に取り掛かってください。

2 必要な工具

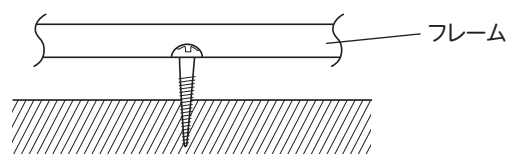
- ・電気ドリル（床がコンクリートの場合は、ハンマードリル）
- ・+ドライバー（+3ビット）
- ・ソケットレンチ（二面幅10mm）

3 手順

- ①洋式トイレ用フレームを仮組みしてください。
- ②仮組みした状態で、洋式トイレ用フレームの床固定用穴の位置を定め、穴の中心部分に合わせて床に印をつける。

(床が木の場合)

- ③②で印を付けた床に、木工用ドリルでφ3mmの下穴をあけてください。
- ④床固定用穴の上から木ネジで、床に固定してください。



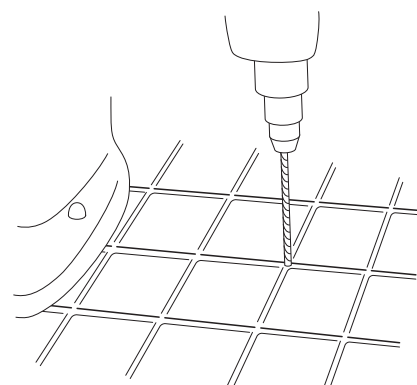
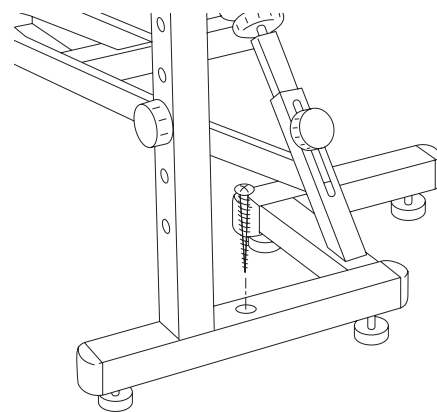
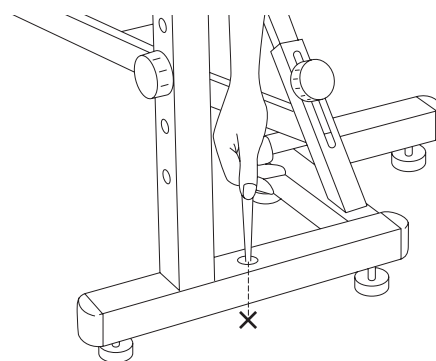
注意

床固定をしている場合は、アンカーボルト・木ネジがゆるんでいないかご使用前に点検し、ゆるみがある場合は使用を中止すること

ゆるんだまま使用すると、不安定になり、けがの原因になります。

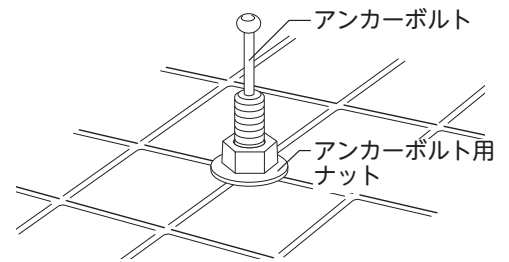
(床がコンクリートあるいはタイル貼りの場合)

- ③一旦洋式トイレ用フレームを便器から外し、②で床に付けた印の部分に、コンクリートドリルでφ6.5mm深さ20～25mmの穴をあけます。（床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴をあけるようにしてください。）

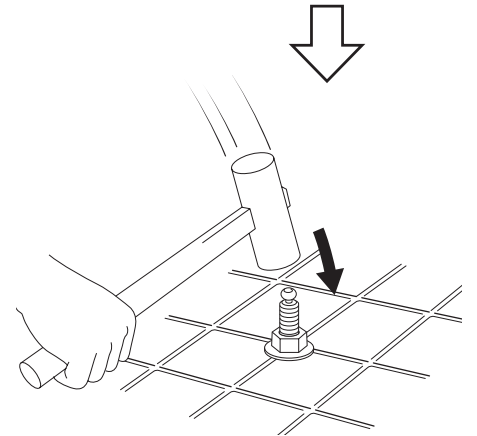


取り付け方法

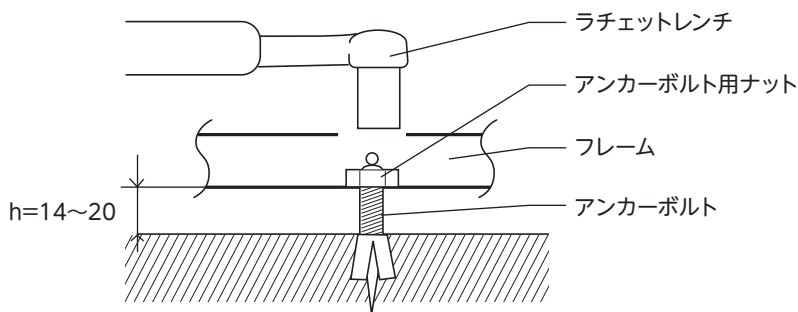
- ④ ③で開けた穴にアンカーボルトの埋設部分（端面が4つに割れている方）を差し込みます。



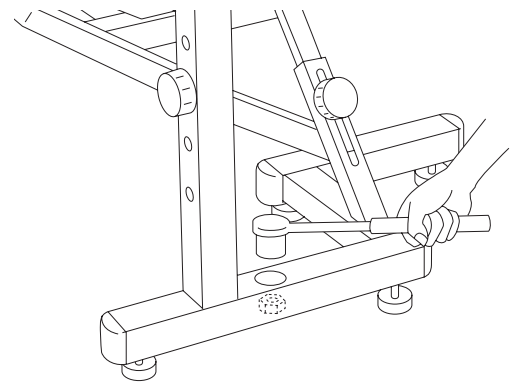
- ⑤ アンカーボルトの頂点に突出しているピンをハンマーで叩き込み、アンカーボルトを固定します。



- ⑥ 洋式トイレ用フレームを再度取り付け、床固定用穴とアンカーボルトを合わせ、フレームの中でナットをしめ付けて固定してください。



※床面アジャスターは、できる限り低く設定し、
hを20mm以上に設定しないでください。



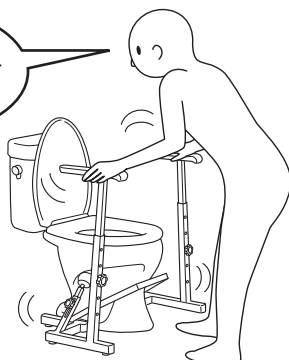
使いかた

ご使用の前に (点検)

製品が便器にしっかり固定されていることを確認してください。

- ① しっかり固定されているか確認してください。

前後左右に
かるくゆらして
チェック



- ② 便器から製品が動くようなら、
P.6～7「取り付け方法③～⑥」を確認し、
再度取り付けてください。

詳しくは添付の「ご利用者様へ」をよくご確認ください

お手入れの方法

本体の洗浄

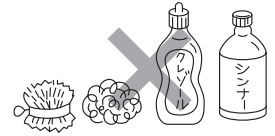
中性洗剤のうすめた液をスポンジかやわらかい布に含ませ、汚れを取った後、乾いた布で空ふきしてください。



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・塩素系洗剤 ・タワシ ・酸、アルカリ性洗剤
- ・研磨剤入りのスポンジ ・シンナー ・磨き粉 ・クレゾール
- ・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒 ・その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、けがの原因になります。



消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。

製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。



オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。

保証とアフターサービス よくお読みください

その他、

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ

商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書(取扱説明書)を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室  0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の

月～金 9:00～17:00

(12:00～13:00 は除く)